

平成筑豊鉄道安全報告書

2012年度版



この安全報告書は、当社における鉄道輸送の安全確保に向けた取組みや安全の実態をまとめたものです。

1. 利用者はじめ地元の皆様へ

当社の鉄道事業に対して、日頃のご利用とご理解、誠に有難うございます。

安全がすべての基本であり、「お客様の安全を最優先」を念頭におき、安全、安定輸送に努めて信頼される鉄道に向け取り組んでいます。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取り組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。皆様からの声を輸送の安全に役立てたく、是非積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

平成筑豊鉄道(株) 社長 伊藤 信勝

2. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念の第一は安全、安定輸送の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、全社員に周知・徹底しています。

- ①安全の確保は輸送の生命である。
- ②規程の遵守は安全の基礎である。
- ③執務の厳正は安全の要件である。

(2) 安全目標

第1次鉄道輸送安全に関する目標(平成19年～23年度の5カ年計画)

区分	項目	内容
定量的な目標	・列車事故 (衝突・脱線・火災)	重大事故を発生させない
	・乗客の死傷事故	乗客の死傷事故を発生させない
	・踏切障害事故	踏切故障による人身事故を発生させない

3. 事故等の発生状況とその再発防止処置

(1) 鉄道運転事故

2011年度は、鉄道運転事故はありませんでした。

鉄道運転事故発生件数(過去5年間)

年度	2007	2008	2009	2010	2011
列車事故	0	0	0	0	0
人身傷害事故	0	0	0	0	0
踏切障害事故	0	0	0	0	0

(2) 災害(地震や暴風雨、豪雪など)

2011年度は、赤駅～油須原駅間(17K700m付近)の一部法面の固定化工事を施行いたしました。

2012年度、九州北部豪雨により田川線、崎山～勾金間で約40箇所
の災害を受け復旧に努めております。

(3) インシデント(事故の兆候)

2011年度は、インシデントは、発生させておりません。

閉そく違反	信号違反	信号冒進	本線逸走	工事違反
0	0	0	0	0
車両脱線	施設障害	車両障害	危険物漏洩	その他
0	0	0	0	0

(4) 行政指導

2011年度は、九州運輸局からの行政指導はありませんでした。

4. 輸送の安全確保の取組み

(1) 安全重点施策

① 人身傷害事故の予防

当社は、全てワンマン列車です。特にお客様の乗降時におけるドアによる傷害事故防止に努めています。

その予防策として
ア、新車導入車両にドアセンサーの設置
イ、ドア閉そく圧力の調整
ウ、車内放送による注意の呼掛け

② 踏切障害事故防止

踏切は、昼夜を通して列車が通る際に横断する歩行者や自動車の安全を保つための設備であります。しかし、落雷等により警報機が故障する場合がありますので踏切では、必ず一時停止と左右確認をお願いいたします。

また、警報機が鳴り始めてから遮断機が降りるまで約4秒、完全に降りてから列車が到達するまでの時間は15秒から20秒要します。
2011年度は、踏切警報機11箇所20基の更新を行いました。

③ 線路故障防止

線路は、列車を走らせお客さまを、安全・快適に目的地までに御届けするため常に保守を行っておくものです。年々設備が古くなると快適性が損ねられるし、安全が保たれなくなります。

その対策として、2011年度、木マクラギ1600本の更新と1,968本の木マクラギをPCマクラギに又、内田～柿下温泉間のレール交換をしました。

(2) 人材教育

当社では、安全・安定輸送を継続していくために、各担務の技術の継承を行うためOJT教育を主体に人材の育成を行っています。



① 運転指令業務

列車運行全般の指示・命令を司る業務であり、豊富な教育と経験を有します。

当社採用のプロパー乗務員を教育し、指令業務に従事しています。



② 信号担当業務

すべての列車は、信号機に従って運転しています。一旦、信号機にトラブルが発生すると全列車に影響を及ぼします。

昨年1年間、1名を部外へ出向させ、基本教育から異常時に対応できるよう技術教育を受けてきました。



③ 乗務員

乗務員は、昼夜を問わずお客様の安全を担うため運転を行っています。

昨年は7名の新人運転士が独り立ちしました。

「初心忘るべからず」が事故防止の基本です。



④ 車両係

安定輸送を行う車両の検査・修繕を行うのが車両係です。

新製車両が投入され早いもので4年が経ち、重要部検査の時期に
来ました。

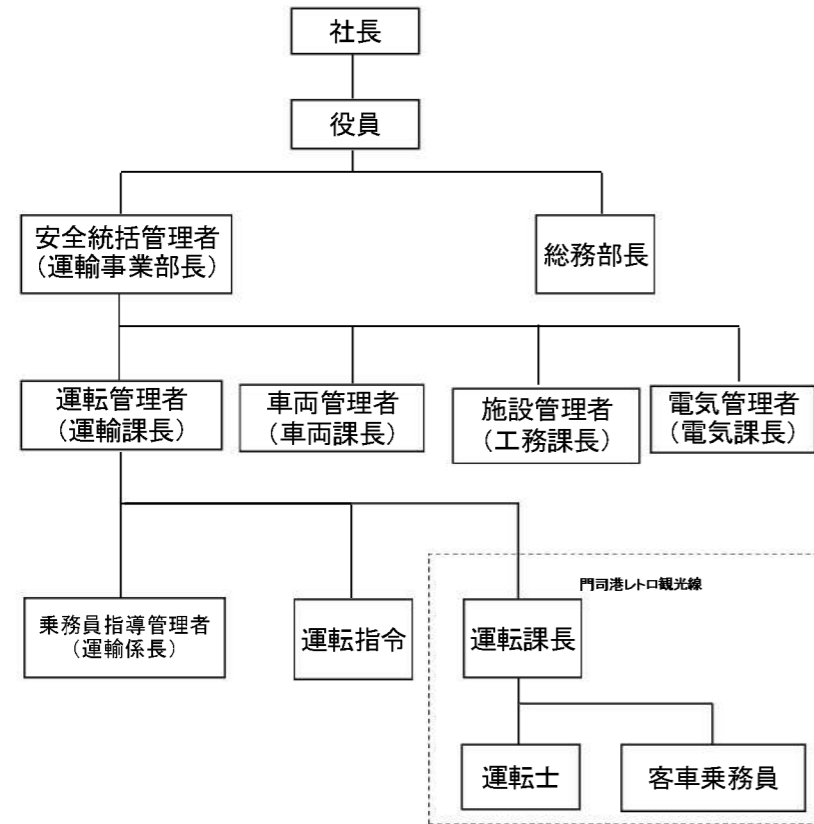
2011年度は、4両の重要部検査を実施しました。

(3)安全のための投資と支出

	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
車両更新等	新車導入 3両	新車導入 1両	重要部検査 4両	重要部検査 3両
信号保安設備	ATS設備更新	電子閉そく装置更新	信号配電線更新	信号器具箱の更新
踏切保安設備	危険踏切安全対策設備更新	危険踏切安全対策踏切遮断機更新	危険踏切安全対策踏切警報機更新	踏切バックアップ検知装置の更新
通信保安設備	無線設備更新	無線設備更新(中央、無線基地)	高圧ケーブル・トランス及び支柱更新	高圧ケーブル・トランス及び支柱更新
軌道改修	枕木交換等	枕木交換等(PC枕木化)	枕木交換(PC化含む)レール交換	枕木交換(PC化含む)レール交換
橋梁改修	嘉麻川橋梁(上り線)	橋桁補修(ペイント塗替え)	嘉麻川橋梁橋脚補修(下り線)	嘉麻川橋梁ペイント塗替え

5. 安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にした上で、安全確保のための役割を担っています。



役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う
安全統括管理者(運輸事業部長)	輸送の安全の確保に関する業務を統括管理する
運転管理者(運輸課長)	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する
施設管理者(工務課長)	安全統括管理者の指揮の下、鉄道施設(電気関係を除く)に関する事項を統括する
電気管理者(電気課長)	安全統括管理者の指揮の下、鉄道施設の電気に関する事項を統括する
車両管理者(車両課長)	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する

6. 地元の皆さまとの連携とお願い

(1) 踏切事故に、ご注意ください

昨年、視認性の良い全方向型警報機(LED化)を20基更新いたしました。

しかし、見え易くなり警報機が作用していても、必ず、踏切では一旦停止を行い列車運行を確認し渡ってください。



※ 踏切の横に踏切名称と連絡先を書いた「連絡依頼標」があります。

異常の場合は、踏切名と状況をご連絡をお願いします。



※ 非常ボタンを押す悪戯が増加してきています。

悪戯を見かけたら注意していただけるようお願いいたします。



(2) 気をつけていただきたい踏切

以下の踏切は列車の直前横断が多いので横断時には必ず左右の確認を、また、踏切直前に交差点がある場合、トリコにならないよう気を付けてください。万が一、トリコになった場合は非常ボタンを押すか遮断機を押上げ(45度開く)自動車を線路外に出してください。

	踏 切 名	所 在 地	記 事
1	神田踏切	行橋市西泉	自転車・歩行者の列車直前横断多発(遮断機、警報機なし)
2	お寺前踏切	福智町上金田	遮断桿折損多発(踏切の直前に交差点あり)
3	長浦公民館前踏切	田川市下伊田	遮断桿折損多発(踏切の直前に交差点あり)
4	宮床踏切	糸田町宮床	直近に県道合流の交差点あり(交差点に信号機なし)
5	上金田大踏切	福智町上金田	遮断桿折損多発(踏切の直前に交差点あり)

(3) こども110番

平成筑豊鉄道株では、「こども110番」として地域の子どもを守るため全社員で取り組みを行っています。

「こども110番」のステッカーを見て、子どもが助けを求めてきた場合は、社員が保護し、子どもに代わって、110番通報を行うなどの対応をとります。

(4) 乗車マナーについて

駆け込み乗車は大変危険です。過去のドア挟み事故の原因は殆どが駆け込みです。また、ホーム、車内での座り込みは他のお客さまにご迷惑をかける外、お客さまの足と絡み転倒したりします。乗車マナーを守って下さい。

(5) マナー指導員について

平成18年10月から利用者のマナー向上を図るため、警察OBを採用して車内で不正乗車、お年寄りの手助け、駅ホームでの駆け込み乗車禁止の指導を行っています。

(6) テロ対策

車内で不審者、不審物を発見した時は、運転士に連絡して頂くか、また車内警報ブザーを御利用下さい。



7. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取り組みに対するご意見をお寄せ下さい。

ご意見、ご要望

平成筑豊鉄道(株)

TEL0947-22-1000 FAX0947-22-0910

Eメール heichiku@fukuoka.email.ne.jp

月～金 8:50～17:30(土日祝を除く)